

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38457
事業名	父親による子育て推進費					
評価担当課	所 属	子)子育て支援 子育て支援課			電話番号	211-2997
施策名	社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えています。また					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	子育ては、家族や地域で協力して行っていく必要がある。父親が自分のライフスタイルやスキルに合わせて積極的に子育てするため、子どもと関わるきっかけづくりとなる父子同室講座受講を通して、父親の子育てに対する意識変容を促し、父親と母親が協力して育児を行うことで、母親に偏りがちな育児負担の軽減を図るとともに、各家庭における子育て力の向上を目指す。一方、令和5年度行政評価(外部評価)において「札幌市の異なる部署にて実施する女性活躍・子育て支援関係の各種事業においては、共同での事業の実施や実施規模の在り方、部署間の役割分担や体制等の在り方を検討し、市民や企業にとって分かりやすく、かつ効率的・効果的な予算執行となるよう工夫すること。」との指摘があり、効果や課題を検証しながら、事業の再構築を行っているところである。
	事業内容(何を実施し)	父親の積極的な子育てを推進するために、父親の参加率が高い休日に各区保育・子育て支援センターを会場として、父親が子どもと関わるために家庭でできるスキンシップや運動遊びを紹介したり、父親同士が子育ての情報や経験を共有したりするきっかけとなるような父子同室講座を実施した。また、講座周知を目的とした事業啓発イベントを開催した。さらに、父親の子育てに関する意識改革・啓発や子育てに取り組む意欲を向上させるための情報発信等を継続して行った。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	父子同室講座を受講して子どもとの遊び方等を学び積極的に子どもと関わる機会が増えることで、父親の子育てに関する意識改革や啓発、子育ての機会の充実を図る。併せて、父親の積極的な子育ては母親の育児負担の軽減と不安感の解消につながり、各家庭における子育て力の向上を目指す。
	他都市の状況	多くの政令市でも啓発冊子の配布のほか、講座の開催などに取り組んでいる。横浜市では専用サイト「ヨコハマダディ」を運用し、居場所やロールモデル、講座情報などの紹介を行っている。さいたま市では、父親同士の交流や子育てを楽しむために必要な技術や知識を学ぶ講座を開催したり、子育て支援センターの父親の施設利用促進のため、休日に父親向け講座やイベントを多数開催したりしている。
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外

令和4年度決算額	2,212 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度予算額	2,700 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.45 人工
令和5年度決算額	2,620 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.45 人工
令和6年度予算額	2,700 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.33 人工

指標	アウトプット活動指標1	父親同室講座の参加組数(年間累計)				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		137	200	169	220	300	300	
	アウトカム成果指標1	父子同室講座参加者の育児への行動変容が期待されるもの				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		データなし	80%	85%	90%	90%	90%	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		活動指標について、令和5年度の申込数は目標を大きく達成しているものの、参加者が乳児を含むことから体調不良等を理由にキャンセルが発生し実績としては未達となっている。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定		
指標2の評価、未達理由、今後の考え方								

今年度の見直し内容 外部評価において部署間の共同実施や役割分担等も検討を求められており、事業啓発・広報は費用をかけずに出展できる他部署のイベント等に参加する等、内容を精査し、業務委託費を削減する。

来年度以降の方向性 運動遊びをテーマとして全区で実施している父子同室講座は好評であるため継続、転入者からのニーズに応え冬季の戸外遊びをテーマとした講座を今年度は数回試行実施し、来年度以降は全区に展開していきたい。また、他部署との連携や共同で実施できる事業、役割分担や体制等の在り方についても引き続き見直す。